

## 第143回長崎大学経営協議会議事要録

1 日 時 令和6年3月22日（金）15時00分～16時40分

### 2 審議事項

(1) 令和6年度学内当初予算配分について

理事（財務・施設担当）から、資料2に基づき、令和6年度の学内当初予算配分について説明があり、審議の結果、了承された。

（◎は学外委員，○は大学側の発言）

◎医師の働き方改革の影響等があるのか伺いたい。

○医師の業務を他のスタッフへタスクシフトする等により人員を増員しているため、人件費への負担は大きいと考えている。

(2) 令和6年度長期借入金認可申請等について

理事（財務・施設担当）から、資料3に基づき、大学病院のライフライン整備の事業費に係る財源として、長期借入金を借り入れるための認可申請を行うこと及び償還計画について説明があり、審議の結果、了承された。

(3) 令和6年度資金繰計画（案）について

理事（財務・施設担当）から、資料4に基づき、長崎大学資金管理規程第4条により、令和6年度資金繰計画（案）について説明があり、審議の結果、了承された。

(4) 令和6年度余裕金運用計画（案）について

理事（財務・施設担当）から、資料5に基づき、長崎大学資金運用細則第7条により、令和6年度余裕金の運用に関する計画（案）について説明があり、審議の結果、了承された。

### 3 報告事項

(1) 令和5年人事院勧告を踏まえた給与改定に係る差額一時金の支給について

理事（総務担当）から、資料6に基づき、令和5年人事院勧告に係る給与改定の基本方針（令和5年10月5日役員会決定）を見直し、施行日前までの遡及相当額を差額一時金として支給することができるよう改め、遡及相当分の一部を差額一時金として支給したことについて報告があった。

(2) 令和6年4月からの新執行部体制について

議長から、資料7に基づき、令和6年4月からの新執行部体制について報告があった。

(3) 医学部キャンパスで新たに見つかった被爆遺構（原爆遺構）について

理事（財務・施設担当）及び施設部長から、資料8に基づき、医学部キャンパスにおいて工事中に発見された被爆遺構の内容と今後の取扱いについて報告があった。

(4) 最近の大学の主な動きについて（大学HP掲載トピックスのまとめ）

上記(4)の報告事項については、資料配付のみとした。

#### 4 その他

##### (1) 意見交換

委員から大学院の在り方等について意見交換を行いたい旨の発言があり、概ね以下のような意見交換を行った。

(◎は学外委員，○は大学側の発言)

##### ①大学院の在り方；5年制の教育課程について

◎他大学において5年制の教育課程（学部4年・大学院修士1年）について報道されていたのを受け、留学生の獲得等の目的は大学によって異なるが、長崎大学においても、そのような教育課程の在り方等を検討する場があるのか意見を伺いたい。

○5年制については、留学に有利になる面もあるため、実際にどのようなメリットや魅力があるのか議論する必要はあると考えている。

##### ②観光業への関わりについて

◎長崎県内には長崎国際大学以外に観光に関する学科がなく、観光に携わる人材が不足していることから、例えば、観光に関する学科を置く等検討できないか意見を伺いたい。

○学科の設置は難しい面もあるが、学生のインターン、また、歴史文化や観光ビジネス等で観光に協力していくことは考えられるので、今後議論していきたい。

○観光を専門としている教員もいるため、学部の強みを考える中での参考としたい。

○現在、修学旅行の学生を探求学習の一環として大学で受け入れる取り組みを行っている。

##### ③予算における戦略的経費について

◎予算に関しては基本方針を示すことは重要で、人件費は重要事項であると思われるが、今後の戦略的経費等の考え方や課題についても意見を伺いたい。

○グローバルヘルス、グローバルリスク、グローバルエコロジーの3つの観点から、研究に専念できるように整備を行う等考えているが、今後の経営協議会において説明していきたい。

##### (2) 令和6年4月以降の経営協議会委員について

議長から、資料10に基づき、令和6年4月以降の経営協議会委員について紹介があった後、令和6年3月31日限りで退任する委員から挨拶があった。

##### (3) 次回の経営協議会の開催予定について

議長から、次回は令和6年4月15日開催予定である旨説明があった。

(以上)